

発行：社会福祉法人 くまもと障害者労働センター 〒861-8039 熊本市東区长嶺南 1-5-4 の  
TEL: 096-382-0861 FAX: 096-285-7755 http://1985orange.com

～地震後のカフェの変遷～

地道に一步ずつ〇〇〇



9月からおれんじカフェ  
簡易的にスタート!!

熊本地震  
から5ヶ月  
皆様の温かい  
ご支援に支えられ  
一步一步  
前に進んでいます。

8月からプレハブ  
にてカフェスタート

5月から青空の下  
カフェスタート

竹は「節」を重ねて高く大きく育って行きます。節の無い竹は、ふとした衝撃でポキッと折れてしまいます。熊本地震は私たちにとって、あの立派に繁る竹のように大きく、頑丈に育つための節だったのだと、今となってはそう思います。そう、おれんじ村はあの地震から、ちょっとやさっとじゃびくともしない、大きな芯を得たのです。

たくさんのご支援、ご協力で復興支援のお菓子の注文も多くいただき、おれんじカフェも装いも新たに再スタートすることができました。そして新たな目標を胸に、一同業務に励んでおります。

今まで震災前から頑張っていた仕事、震災時に皆で考えて始めた仕事、そしてこれからの未来を見ずえてスタートさせる仕事。私たちは夢に向かって頑張って行きます。これからも、みなさんと共に手を取り合い、歩んでいきます。

～今後のおれんじカフェに乞うご期待下さい!!～



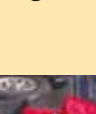
夏晴れの中

おれんじ村だま



夏まつり

大盛況



▲司会者の3人さん



長嶺地域のたくさんの力のおかげ

ご参加、そしてご協賛、誠に有難うございました。

「雨にも負けず、風にも負けず、熊本のぞうかい地震にも負けず、を合言葉に今年も夏祭りを開催しました。」

牛島 隼 紀

あの熱狂の夏祭りからはや一週間。祭りの後の静けさでも言いましようか、片づけも終りすっかり日常に戻ってきました。この種やかに流れる日々を過ごしていると、あの夏祭りの時に司会を3人で任されたことがまるで遠い昔のように思えてしまいますね。

「この場にいるみんなが楽しめるように、3人で精いっぱい祭りを盛り上げよう！」を合言葉に、素敵なステージ発表、店の宣伝、コーラ早飲み募集に声をかけていました。また、今年はインタピビューに多く時間を取り、会場全体が一体となって「参加」できるよう趣向をこらして見たりもしました。みなさん如何でしたでしょうか。例年とは異なり、夏の時期の開催となりましたが、熱さを忘れてしまいうほどに楽しんで頂けたのなら幸いです。それでは、また来年の祭りをお楽しみに。たくさんのご参加、ありがとうございます。

▲皆さんのフットー!! 誰か1番されるでしょうか?



▲おれんじ村民フットー!!



▲たくちゃんにかかっています



▲揚げたて売りの置さんハイチーズ

IN長嶺南2丁目ふれあい公園

8月22日(日)午後2時～5時



▲ホトをR中～何を言うの～



▲いっしょに歌っているよな～



▲グループには長蛇の列!! ホケモノのOには負けないぞ!!



▲チビツチャーン頑張れー



▲昭和の名曲が懐かしいです



▲西原中の皆さん、素敵な歌声です。



▲サンシャインさんVフォーダンスに向けて



▲アソビマンボーダンスが素晴らしい!!



▲暑い中 旗を頑張っています



▲皆さんのチアリーダーを賞めています

# にじいろだより

前回 WITH 8号で紹介した、医療的ケアを必要とする子ども達の豊かな学校生活を願う親の会「虹色の会」が新しく事業を開始されました。



放課後デイサービスにじいろは、たくさんの想い、願い、夢を乗せて、2016年3月、開所いたしました。子どもたちがほっとできる場所を。学校から自宅に帰るまでの間、肩の力を抜いて、安心して過ごせる場所を。

一人ひとりの輝きを大切にできる場所を。。。そして、未来への夢を描くことのできる場所を。。。

「にじいろ」は・・・

雨上がり、空のかかる虹。なんだか、希望に溢れ、見ていてわくわくするような、心の中も明るく照らされるような、そんな気がしませんか。「虹色は七色」と言われますが、実は、虹の中には無数の色が存在するのです。子どもたちも、一人ひとり光を放ち、そしてその色は皆違います。すべて違う色を持ちながら、仲間が集まるとその輝きは力強く、お互いを照らし合います。子どもたちが、この世界を照らししていきます。

世の中に希望の光を与える子どもたちの姿を、無数の色を持って空に輝く虹と重ね、子どもたちの輝きを大切にしていきたいのが私たちの使命と考え、当デイサービスの名称を「にじいろ」としました。

開所してから三カ月余りの月日が流れ、4月には思いもよらない、熊本地震がありました。電気、水道は止まり、食料も思うように手に入らない中、幸いにも被害を免れた「にじいろ」は短時間開所で21日から開所。余震もまだまだ頻繁にあっていましたが、少しの間でも「にじいろ」で過ごしてもらうことで、子どもたちに笑顔になってもらいたい、そんな開所でした。

「にじいろ」には毎日学校から帰ってくる子どもたちの「ただいま～～！」という元気な声が響き渡っています。

「にじいろ」のスタッフは、ほとんどが、今まさに子育て真っ最中の母親たちです。皆、子育ての中でいろんなことに悩み迷いながら、子どもたちと共に奮闘する日々です。「放課後の子どもの行き場がない。」「仕事をしていて、放課後や学校が休みの日に子どもだけで留守番させてしまっている。」「子どものことがあるから仕事は難しい。」など、親御さんの悩みは尽きません。その間にも、子どもたちはどんどん大きくなっていきます。子どもたちとの宝物のような一日一日が、「にじいろ」でみんなと過ごすことで豊かになりますように。。。「にじいろ」に来てもらっている子どもたちだけでなく、親御さんも今までできなかった仕事をしたり、ゆっくりしたり。。。していただけたら、嬉しく思います。

「にじいろ」のスタッフも毎日パワーが有り余る子どもたちにいつも元気をもらっています。まだまだ未熟なところもありますが、温かく見守っていただき、いっしょに、育てていただけたら幸せです。



## おれとお願い

私達の共働事業は、障害のある人もない人も一緒に働いて、厳選した材料を使用し、安全なお菓子を製造し、皆様のお手元へ届けることで成り立ちます。夏休み期間ということもあり、販売部では学校をはじめとした多くの事業所などに販売に伺いました。紙面上ではありますが、ご理解ご協力厚くお礼申し上げます。

お陰様で全国から沢山の復興支援お菓子の注文を頂き、製造部・販売部ともに元気に稼働しております。この良い流れを絶やさず、商品開発・品質向上に努めて参ります。どうぞ宜しくお願いします。

製造部・販売部

## 編集後記

こんにちは。今年には熊本地震が4月にあり、おれんじ村も大変な被害を受けましたが皆の力を結集しおれんじ村の祭りを夏に無事開催する事が出来ました。長嶺地域の皆様と地震の事を忘れて盛り上がり大変良かったなと思います。

おれんじカフェも徐々に復旧し少しではありますが元の姿に戻っています。これから「弁当」を作って販売するという事業を行っています。いっぱい注文が来てくれる事をおれんじ村一同心より願っています。

I T 部 E